



7 July

ゆりかご幼稚園運動会

やまのべ ぎかい

YAMANOBE Assembly Letter

だより

- 急増 ふるさと納税寄附金 2P
- 未来を話す会 4P
- 一般質問 町はどうする? 6P

発行/山形県山辺町議会 編集/広報常任委員会
Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp



町ホームページで
議会中継を
配信!!

〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118

やまのべ ぎかい
だより
2017年7月号 VOL.97

ちょっと!! ひとこと



菅野 善隆さん(要害)
祖父、菅野安次郎氏は元山辺小学校校長で、その縁により10年前から要害に居住。

慣習に泥んで、中庸は如何に

約三十人の総会の席で、一人の老は頑張った「年だから...、無理だつす...、ほだごと言われでも...、代わりの人に...、...と」数えるに六回、「断り」を懇願したが、八十余歳の一人住まいの方が地区委員に決まった。

一方、この総会の一時間前まで代わりの人が代理として周知されていた。が、しかしである「近所の人と話し合って、その人が出来ないなら、何で出来ないのか総会で言わせるのだ!」と言う。私にとつて、砂を噛むような辛く長い総会であった。「やおすの前にやおすあり、やおすの後にやおすあり」酷い総会の姿であった。後日、同席した人が声を掛けて来た。「あの総会は、ひどかったな。途中帰ろうと思つたよ」と言う。

山辺町には、世界の偉人「安達峰一郎博士の精神」が、存している「はず」である。

博士は、自らの命を顧みず排他主義に距離をおき、仁・義・愛・信・敬の真の融和を実践した。

恐れ多くも、博士の髪の毛一本を戴き、高齢者また要務に堪えがたきと推すれば、付度を働かせしめ、その任を解除して良しとすべきか否か? 町は偉大な博士の偉業と精神・実践に、真つ向から拝して然るべきと思量する。町と町

表紙の説明



ゆりかご幼稚園の運動会が6月10日町民体育館で行われ、園児と保護者の熱気が体育館いっぱい広がっていました。

民との乖離が目立つ。二十・三十・四十代の若い柔軟な方々に期待する。

客年、総代をするにあたり若い面々に助けられた。副総代・評議員長・評議員の素直さに感服。良く働きその任を果たしてくれました。また、歴代の総代は快く相談に応じてくれた。深く御礼申し上げます。

議会より
各地区でも高齢化によるさまざまな問題が出てきています。町民みんなで支えあつていく必要があるのではないのでしょうか。

編集後記

すっかり夏、町中に花が咲き田んぼの緑もいちだんと濃くなっています。都会では味わえない緑の香りがそよ風につれて流れてきます。

先日、近江地内の街路樹の足元に咲く花に、小学生の女の子が自転車であつて、ペットボトルに入れた水をあげているのを見かけました。中学生が街路樹あとに植える花いっぱい運動も、花や緑を大切に作る姿は見ているとうれしくなります。

次々と伐られていく町の街路樹も人の心を癒してきたはずなのに...。そんなことを想いながらちよつぱり心が安らいだひと時でした。

渡邊 裕一記

- 発行責任者 鍋倉 竹志
- 編集長 鍋倉 竹志
- 委員 遠藤 真由美
- 委員 渡辺 知広
- 委員 齊藤 昭彦
- 委員 武田 啓一郎
- 委員 渡邊 裕二
- 委員 安達 春彦

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。
<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



4182万円の増額 **可決**

「さくらんぼ」返礼品

急増
ふるさと納税
寄附金

平成29年度一般会計補正予算

約 **61%** が

主な補正予算

山辺温泉
保養センターの維持管理

205万円の増額

男女浴槽排煙窓の故障による修繕

農村地域
防災減災事業

300万円の増額

ため池などの耐震性の調査に係る経費（荒沼の堤体など調査）



調査が行われる荒沼

ふるさと応援基金

4000万円の増額

ふるさと納税寄附申込者の増加によるもの。
平成29年度申込件数3,367件のうち2,052件がさくらんぼ返礼品を希望（平成29年5月末現在）



好評のさくらんぼ返礼品

社会資本
整備事業交付金

3884万円の減額

社会資本整備総合交付金の国の内示によるもの

新聞活用教育
活動支援事業

75万円の増額

町内小中学校で新聞を活用した授業の教材として



救命率の向上

52万円の増額

自動体外式除細動器（AED）収容ケースを屋外に設置（中支所・作谷沢支所）



建設機械を取得
2268万円

へん地債（作谷沢へん地）を活用して、作谷沢地区の除雪ドーザ（11t級）を更新。



みなさんからの請願

請願名	農業者戸別補償制度の復活を求める請願	請願者	山形地方農民連 会長 吉田 吉弘
趣旨	米価が生産費を大きく下回る水準に急落している。こうしたなか、平成30年産米から「経営所得安定対策」が廃止されようとしていることから、農業者戸別補償制度の復活を求めるもの。	紹介議員	渡辺 知広
		結果	採択

主な条例の制定

○山辺町定住自立圏の形成に係る議会の議決に関する条例の一部改正
基本構想を策定、変更する際は、議会の議決を経ることになりました。

○山辺町都市公園条例の一部改正
都市公園の施設も指定管理者制度を活用して、民間事業者でも運営できるようにになりました。

○山辺町議会委員会条例の一部改正
常任委員会の所管担当課を変更しました。

報告事項

○繰越明許費繰越計算書
○平成28年度山形県東村山郡山辺町土地開発公社決算
○平成29年度山形県東村山郡山辺町土地開発公社予算
○山辺中学校建設特別委員会の解散（P12に内容記載）

第2回定例会が6月6日より8日までの3日間の会期で開催され、4人の議員が一般質問を行いました。すでに施行されている町税条例の一部改正を含む3件の専決処分を承認、3件の条例改正議案と、29年度一般会計補正予算および、追加議案で建設機械の取得を、全会一致で可決しました。ほかに4件の報告事項がありました。また農業者戸別補償制度の復活を求める請願を採択し、意見書として提出することを決めました。



未来を話す会

第7回議会 報告会開催



7回目となる議会報告会を6月3日(土)、中央公民館で開催しました。今回は初めての試みとして3つのグループに分かれ、参加者と議員が膝を突き合わせてじっくりと話し合いました。参加人数は少なかったものの、参加者全員のお声を聴くことができました。いただいたご意見は、今後のまちづくりを活かして行きます。

ご参加いただき
ありがとうございました

議会について

Q. 子ども議会、中学生、高校生議会など考えてみては。

A. 3月議会に小学6年生が社会勉強として傍聴に訪れてくれた。先ずは議会傍聴からでも始めて欲しい。

Q. 議会基本条例を制定したが利活用しているのか。

A. 議員の資質を高める**不断の研鑽に努めている**。開かれた議会を目指して、広報・広聴に力を入れ「**出前議会**」の開催や、町ホームページで議会の録画配信を開始した。

道路について

Q. 大門地内。以前中山に向けて道路を切る予定があったと思うがどうなったのか。

A. 計画があり現在も県に要望しているが、実現には至っていない。

防犯について

Q. LED防犯灯の補助金の継続をお願いしたい。

A. 町では今後も出来る限り継続していくとしている。

Q. 山辺小学校への脅迫に伴い、主要施設や公共施設などへ防犯カメラの設置が必要では。

A. 町では防犯カメラの設置に関して、運用基準などの課題もあるが、その効果を検証しながら、必要に応じ設置を検討していきたいとしている。

防災について

Q. 防災放送は聞こえない所がある。改善について技術センターなどにアドバイスを求めては。防災ラジオなどの検討は。

A. 町としては、聞こえにくいという**地区の調整**を行っている。放送は3回、同じ内容を発信している。災害メールなどでも情報伝達しているので活用していただきたい。専門家の**アドバイスも受けてみたい**。災害ラジオの導入は調査中。

財政について

Q. 厳しい財政の中で、慢性化している**団体への補助金の執行状況**などの確認、精査が必要では。

A. 補助金額の多い少ないだけでは一概に比較できないが、**補助金の使われ方が現状に合っているかなど毎年精査**していく。

施設について

Q. 野球場やグラウンドは練習だけでなく、**もっと広く活用**できるよう改善を。

A. 町では**安全に試合が出来るように設備の改修**などを検討している。

Q. あがらっしゃいの**夜間利用人数**はどのくらいか。それによっては夜間あけるのは**経費のムダ**ではないのか。

A. 夜間利用人数は、平成27年度1,251人、平成28年度1,827人と**徐々に増えてきている**。今後も利用してもらえるよう色々考えていくとのこと。

Q. **大寺小の今後**について、先日の座談会はどんな内容だったのか。

A. 子どものための教育という考えを最も大切にして、**将来展望を見据えた方向性を示していく**という話し合いだった。

その他の要望・意見

◆駅舎について

・古い駅舎のままでは良いのではない。
・古い駅舎も見直されている。
・利用者はほとんど学生であるから改築の必要はない。
・トイレは洋式に。階段は何とかして欲しい。
・他町から来た人を案内するのに今の駅舎では恥ずかしい。

◆敬老会について

・地域でそれぞれ考えて実施して欲しいとのことだが、地区委員の輪番制も厳しい地区があり、負担が大きい。
・翌年また違う地区委員になれば毎年一からの繰り返りになるので、定年制を進めて欲しい。



防災力強化

消防団員確保に対する町の取り組みは

(町長) 消防団を中心に町が連携協力し、団員減少に歯止めをかける



渡邊 裕二

質問 近年、地域防災力の中核として重要な役割を果たしている消防団員数が年々減少と平均年齢の上昇が進んでいるのはご存知のことと思うが、団員数の確保のために今後山辺町ではどのように取り組んでいくのか。

答弁 消防団内部に処遇等改善検討部会を設け、装備の改善や団員確保対策の意見やアイデアをいただき充実をはかっている。若者が「加入したい」と思える魅力づくりとイメージアップをさらに推進していく。オートマ限定免許の解除や、中型免許取得の助成も毎年予算を計



昼夜を問わずの訓練

上。さらに、やまがた消防団応援事業に店舗への登録勧誘のためホームページや商工会への協力を依頼して町内9事業所の登録もいただいている。女性消防隊による募集チラシも町内外から非常に評価が高い。

質問 『やまがた消防団応援事業』の登録件数が多いほど団員の受ける特典は増えるがそれだけでは足りない町予算にたよらず効果的に団員をサポートすることができる素



サポート店を募集中

晴らしい事業である。実際どのような展開をしているのか。町外の店でも利用できるが、逆を言えば町外の団員も山辺の事業所で特典を受けられるので町の活性化にもつながると考える。さらなる協力要請を願う。

答弁 町長・団長両名で商工会長に協力依頼をしている。商工会長から商業部会に協力要請をして頂き現在の登録件数となっている。

者にもお願いし、町ぐるみで応援体制をつくれれば町のイメージアップにもなるのでは。

一般質問

町政のここはどうする？

一般質問は、議員が町の事務執行状況や将来の政策指針などを問い、適切に町政運営を進めているかチェックするものです。年4回の定例会で議員が一般質問を行います。



傍聴しませんか 次回の定例会は9月です。お気軽にどうぞ。☎ 023-667-1117 (議会事務局)

6月の定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。

- 渡邊 裕二** **防災力強化** 消防団員確保に対する町の取り組みは
- 安達 春彦** **安全対策** 交通事故未然防止の取り組みは
- 武田啓一郎** **災害対策** 災害協定の連携信頼を高め町民に確かな安心を
- 斉藤 昭彦** **観光振興** 今こそ、山辺町観光大使の創設を町道三河線の歩道に防犯灯設置を

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

災害対策

災害協定の連携信頼を高め 町民に確かな安心を



武田啓一郎

(町長) 優先的に支援が得られるよう協定先と検討したい

質問 現在締結している協定書内容には、想定される災害の規模に応じた具体的な行動活動や数量的な確保指針などが示されているのか。協定件数は何件か。

答弁 業務の内容や応援の種類として「点検・応急対策を行う」や「食糧、飲料水および生活必需物資の供給並びにその供給に必要な資機材の供給」とされており、具体的な行動活動や数量的な確保指針を示している。災害時にはなっていない。災害時における緊急調達可能な物資や機械、施設利用などの支援内容のみとしている。

協定を締結しているのは、県内市町村や日立市などの官公庁及び民間事業者・協会であり、総数は30件。官公庁は、相互応援援助。民間事業者との協定では、町建設業協会との災害応急対策や避難所開設時の段ボールベッドや間仕切り、



災害規模に応じた具体的な数字が、町民の安心を高め支える

質問 複数の自治体と協定書を交わしている事業所などは、広域災害を想定した対応可能能力を精査し、町は報告を受け検証しているのか。

答弁 町民の安全安心、生命と財産を守り貫く強い姿勢を、町民に公開示していく上で、今後具体的な数字をより重視して防災対策を講じていくべきだ。

質問 支援レベルを5段階とにし、支援要請内容と具体的な行動対処必要数値を示していれば、対策本部でも的確に実行されると考えられる。そういう仕組みマニュアルを策定していくべきだ。

答弁 対応可能能力については、一部の締結事業所と在庫資材や保有台数の情報交換を行い、災害に備えている状況。事業者の中にはこれまでの被災対策記録データベースで、広域災害に備え、物流センターに備蓄さ



NPO法人コメリ災害対策センターの備蓄品 (写真: 防災対策課提供)

質問 協定先とは、協議活動を実施しているのか。

答弁 毎年、年度当初に民間事業者の各協定先を個別訪問し、協定内容や担当者の連絡体制を確認している。応援協定の内容を検証しながら、いつ発生するかかわらない災害に備えていきたい。

安全対策

交通事故未然防止の 取り組みは

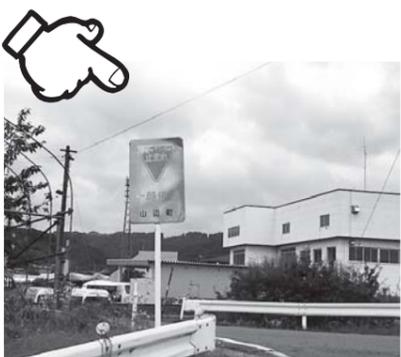


安達 春彦

(町長) 関係機関、団体に働きかけ、協議・協働・協調を図りたい

質問 山辺町の交通事故において、死者は0、発生件数も負傷者も昨年に比べ減少傾向にある一方で、毎月4件の事故と4名の負傷者が発生している状況である。今後、より交通事故を発生させないために町としてはどのような取り組みを考えているのか。

答弁 交通安全大会や高齢者を対象とした「いきいき教室」などさまざまな取り組みを実施している。その他にも運転者会や山形警察署など関係機関と連携を図り事故防止活動を実施している。



消えて判断できない標識

質問 危険箇所でも白線や看板が消えかけ、カーブミラーも見にくい場所を目的の当りにするが、『ハイドロ』において、昨年の取り組み実績はどのようになっているのか。

答弁 大塚道路の歩道設置、今年3月

質問 山辺町における出合い頭事故の多発地点は絞られており、セブン・イレブンの山辺店付近。『ここ3年で9件』事故が起きている。対策はどのようになっているのか。

答弁 国道458号には減速帯が設置されている。交通事故防止の看板などの設置、交差点のカラー化など、道路管理者と協議を行っていききたい。



事故が多発している交差点

質問 先日同僚議員と交通量調査をした。おーばん前は1時間で400〜500台の車が通り、必要以上にスピードを出している車やシルバーマークが付けれられていない車があった。またパトカーは月曜日の巡回が多いが、金曜日は少ないこと。最近ではエコ

答弁 通学路については学校とも協議したい。町としてもやりっぱなしにならないようPDC Aを意識し、交通事故「ゼロ」を目指し、交通環境のハード対策、交通安全のソフト対策に努めたい。

質問 優先的に必要な災害支援が得られるよう、協定先と綿密な打合せを行い、内容について検討していきたい。

答弁 協定先とは、協議活動を実施しているのか。

一般質問

どうなったべ？ あの質問



議員が定例会で行った一般質問が、どう町づくりに反映されているか、これまでの質問の一部を取り上げました。

結果

これまで施設内に設置されていた中支所、作谷沢支所のAEDが施設外の入り口付近に設置されることになりました。これにより、休日や夜間の疾病に不安が少なくなり、急変患者を発見したときは、AEDの使用と心臓マッサージが有効で、いち早い対応が求められます。



命をつなぐAEDボックス (写真はイメージ)

Q 休日や夜間にAED（一般の人が電気ショックを行える医療機器）が必要な場合、町の施設で持ち出せる所が少なすぎるのでは。中山間部への救急隊の到着時間を考えても不安が大きい。

A 全施設を再確認する。室外に設置となれば気温や風雨、紛失なども考慮しながら検討していく。目の前で苦しんでいる人を救うためには、施設のガラスを割ってAEDを取ってもかまわない。

平成28年12月7日 第4回定例会

AEDの夜間使用の 障害における対応は

観光振興

今こそ 山辺町観光大使の創設を

(町長) 旬の時期を逃さないで検討していく



斉藤 昭彦

質問 近年町出身の若い方々がメディアを通して活躍している。町観光協会とタイアップをして観光大使創設を。

答弁 青少年期を町で過ごし自身の持つ魅力や能力を存分に発揮しさまざまな分野でご活躍され、大変喜ばしく感じている。観光大使は、ご本人の活動拠点となっていくことの多い東京などの大都市で広報活動などを行うことが主な内容となっている。

地元以外の人に対して地域の広報活動を委嘱する大使には、「ふるさと大使」や「広報大使」などもあり、設置の目的を十分検討する必要があると考える。情報発信効果として大きな可能性を秘めている観光大使だが、創設には選任方法を含めいくつかの実施方法とそれに伴う多種多様な課題があり、これらを整理



ふるさと愛

今旬な時期を逃さないで前に検討していく。

質問 山形県の半分の市町村で大使を設置している。ぜひ町でも。

答弁 山形県の半分の市町村で大使を設置している。ぜひ町でも。

質問 歩道に防犯灯も無く真っ暗で通学路としては、とても不安である。民家が無いつつ、防犯灯を取り

答弁 沿線には、住宅地がなく両側とも水田で、電柱が無い状況となっているので、防犯灯を設置する場合は、新たに防犯灯用のポールを建てることとなり大きな費用を要することとなる。

若干遠回りにはなるが、防犯灯、歩道が整備されている近江アパート北側の町道を利用されるように学校とも協議していく。新たに町で設置する防犯灯については、関係機関との連携を図り、犯罪のない、明るいまちづくりに取り組んでいく。



防犯灯がない町道三河線

質問 生徒の感情を考慮して、少しでも早く自宅に帰りたいなど、特に冬季間の通学を考慮すべきでないか。

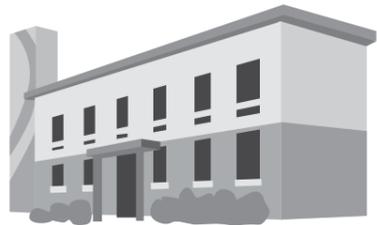
答弁 信号機の箇所です。安全に横断できるように、緊急度合いを見定めながら電力会社と協議を行いながら進めていく。

解説 解消



「起債」とは

債券の発行や資金の借入れを行うことです。地方公共団体の場合は「地方債」といいます。この地方債で財政上の収入と支出との年度間調整を行ったり、一般財源の補完や国の経済政策との調整を行います。ただし地方債は、教育施設の建設や道路河川などの公共施設の建設事業費に要する経費の財源にあてるなど、対象となる事業は法律で定められ制限されています。地方債を活用することによって、多額の費用がかかる事業については、財政的な負担を長期間にわたって分散させることにより、世代間で平等に負担するようにしています。平成28年度末、山辺町の地方債現在高は「69億1500万円」になっています。



新しい町への挑戦

介護予防事業の新たな取り組みとは

厚生産業常任委員会

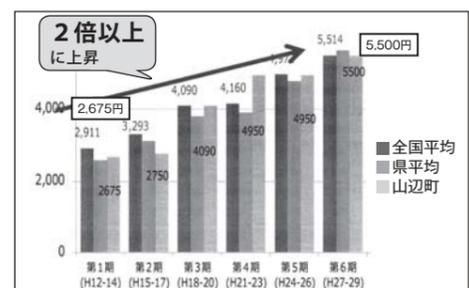
町が新たに取り組む介護予防・日常生活支援事業について、5月19日担当課から説明を受けました。

高齢化率の上昇にともない、介護保険制度の重要性が高まっています。保険給付費の上昇と同時に介護保険料も上がり、制度が始まった平成12年度からの第1期に比較すると平成27年度からの第6期では倍以上となつていきます。平成30年度からの

第7期計画に向け、介護予防に力を入れ、住み慣れた町で元気に暮らしていけるよう、新たな予防支援策が行われています。

特に要支援1・2の方を対象に日常生活支援総合事業に取り組むなど、利用しやすくなった半面、円滑な運営が図られるかなどの課題も考えられます。

委員会として、町民の皆さんの意見を反映させていきます。



これ以上の値上げを避けるために

管理状況を現場で確認

総務文教常任委員会



有事の際の水利は

危機管理の状況を確認するため、5月24日、中山間にある湖沼やため池などの水利、流路などの現状を防災対策課長に同行を求め視察しました。

山林火災や豪雨による土石流など大規模災害を最小限に抑えるためにも、日頃の警戒、点検が必要。各施設の維持管理が適正になされているか点検を徹底すること、行政と住民が一体となってハザードマップを活用し防災対策が図られるよう求めました。

山辺温泉保養センターの浴室排煙窓が故障して修繕する補正予算が組まれたことから、6月1日、現場確認を行いました。

温泉成分付着と経年劣化で開閉できない状況で、防犯上問題があり早期の修繕と戸締りの徹底を促しました。安心して入浴、休憩、食事など利用できるようさらなるサービス向上と利便性の向上を求めました。

絆と親交を深めて

東京山辺会



ふるさとの歌声で盛り上がる

上野のホテルパークサイドで、6月18日、「東京山辺会総会」が開催され、鍋倉議長、本田議員が出席しました。

会員のシユガーシスターズの指揮による県民歌で総会が開幕。故郷の現状と展望を伝える町長や議長の祝辞により、会場は町の将来に対する期待で大いに盛り上がりました。

交流会では、町出身の青山ひかるさんとシユガーシスターズの歌声で故郷への想いが一つに。杯を交わし合う和やかな笑顔で親交が深められたひと時でした。

故郷の料理で乾杯

大蔵北山会



再会を約束

渋谷のパブ山形において、5月28日、「大蔵北山会」の総会（稲村三夫会長）が開催され、齋藤邦彦議員が参加し、会員皆さん元気な顔で年一回の再会を喜んでいました。

山辺産食材の直売と、小さい頃食べた懐かしい料理がテーブルに並び、なごやかに会食しました。

アトラクションは、青山ひかるさんの歌謡ショーと、初参加の武田白龍さん（大蔵出身）の虚無僧尺八演奏。皆さん聞き惚れて、懇親会が一層盛り上がりました。

企画力を高め分りやすく

県町村議会広報研修会



全議員で広報研修

「住民の知りたい！」に
応える議会広報づくり研修
会が、5月26日山形国際交
流プラザで開かれました。

当町からは全議員が受講し、住民の目を引く紙面編集や議会報告会での住民の声を活かしていく手法などについて学んできました。

住民の知りたいニーズに応えるためには、情報のタイムリー性が重要であること。

企画力を高め、日常会話的な分かりやすい編集、インパクトのある特集紙面づくりが心がることの重要性について、一層努力することが求められました。

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 第29回日本一の芋煮会フェスティバル	馬見ヶ崎河川敷 双月橋付近	9月17日	直径6メートルの大鍋で煮炊きし、美味しさもスケールも日本一の芋煮会です。	日本一の芋煮会フェスティバル協議会事務局 TEL 023-622-0141
上山市 第47回かみのやま温泉全国かかし祭	月岡公園	9月30日 ~ 10月9日	今年のテーマは「思い出かかし」。昔ながらのかかしのほか、世相を反映したかかしなどが会場にならびます。	上山市観光物産協会 TEL 023-672-0839
中山町 第10回元祖芋煮会 in 中山	中山町最上川せせらぎ公園	9月30日	芋煮会発祥の地である中山町で行われる芋煮会です。	実行委員会事務局 TEL 023-662-2114



町の災害情報メールにご登録ください。

緊急時に町からのお知らせが届きます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)

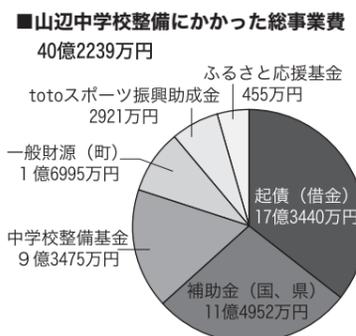
電話でも内容が確認できます ☎ 023-629-0011

山辺中学校建設特別委員会の解散

山辺中学校が改築されることにより、平成22年6月議会において設置された「山辺中学校建設特別委員会」は、すべての施設が平成29年3月に完成したことを受け、今議会の委員長報告をもって解散しました。

4月17日に現地視察を行い、改善点がある場合はすみやかな対応をするよう担当課に求めました。

これからも、町の子どもたちが学校生活を安全で快適にすごせることを望みます。



傍聴しませんか 次回の定例会は9月です。お気軽にどうぞ。☎023-667-1117(議会事務局)

お願い 議会だより取材のため、議員が撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。